



前号に引き続き、動詞の形を練習するときのアイデアを紹介します。



なまえ 動詞で〇×ゲーム

目的・教えること
動詞のいろいろな形を正しく覚えるための練習。
学習者のタイプ
初級。小学生から高校生まで。
クラスのタイプ
2人以上（2人ずつのペアですが、4～5人の小グループでもできる）。
準備するもの
紙とえんぴつ。

みなさんは次のようなゲームを知っていますか。まず、ペアを作ります。はじめにじゃんけんをして、先にする人を決めます。まず目の中に順番にひとりはおを書き、もうひとは×を書いていきます。たて・よこ・ななめのいずれか1列に先に並んだほうが勝ちです。

例)

①	②	③	④																																				
<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>				○						<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>×</td></tr></table>				○					×	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>×</td></tr></table>				○					×	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>×</td></tr></table>			×	○					×
○																																							
○																																							
		×																																					
○																																							
		×																																					
		×																																					
○																																							
		×																																					
⑤	⑥	⑦	⑧																																				
<table border="1"><tr><td>×</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>×</td><td></td></tr></table>	×	○		○				×		<table border="1"><tr><td>×</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>×</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td>○</td><td>×</td></tr></table>	×	○		×	○			○	×	<table border="1"><tr><td>×</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>×</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>○</td><td>○</td><td>×</td></tr></table>	×	○		×	○		○	○	×	<table border="1"><tr><td>×</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>×</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>○</td><td>○</td><td>×</td></tr></table>	×	○	○	×	○		○	○	×
×	○																																						
○																																							
	×																																						
×	○																																						
×	○																																						
	○	×																																					
×	○																																						
×	○																																						
○	○	×																																					
×	○	○																																					
×	○																																						
○	○	×																																					

○が勝ちですね。「動詞で〇×ゲーム」は、このやり方を使います。

方法

準備

教師は図1のように、9個のます目の中に動詞の辞書

形をひとつずつ書いたシートを作ります。

教室で

1) 図1のようなシートを1ペアに1枚配ります。

図1

話す	見る	読む
教える	行く	食べる
来る	書く	する

2) 例では○と×を書くだけでしたが、「動詞で〇×ゲーム」は○と×を書く前に、そのます目の動詞の「て形」(te-form)を言わなければなりません。

3) ひとつの動詞の「て形」を2回言い間違えたら、○や×を書くことができません。相手の番になります。正しく言えたら、○か×を書くことができます。

応用

たてよこ同じ数のますがあれば、ます目を増やすことができます。このゲームは○か×が3つ並んだら1列とれますが、ます目が多くなった場合は、図2のようにできるだけたくさん列がとれるように、続けてやってください。図2の場合、○の列が4つ、×の列が3つですから、○の人の勝ちです。

図2

話す	遊ぶ	行く	取る
待つ	来る	会う	読む
借りる	書く	する	貸す
教える	起きる	食べる	見る

- ▷ 人数が多いクラスでは、「て形」を大きい声で学生に言わせ、それを先生がチェックします。
- ▷ 辞書形から「て形」に変えるだけでなく、辞書形から「ない形」や意向形に変えたり、「ます形」から変えたりしてもいいでしょう。
- ▷ ます目に書き込む動詞を学生に選ばせてもいいでしょう。

アイデア提供：向井園子（日本語国際センター日本語教育専門員）

なまえ 動詞すごろく

目的・教えること
動詞のいろいろな形を正しく覚えるための練習。
学習者のタイプ
初級。小学生から高校生まで。
クラスのタイプ
2人から5人ぐらいまでのグループで。
準備するもの
さいころ、いろのついたおはじき人数分（小さくて、目印になるものなら、なんでもよい）、すごろくシート（付録の「動詞すごろく」）。



新しい動詞の形が出てきたときは、その形に慣れるための練習が大切です。しかし、形を変えるだけの練習を繰り返すのはつらいものです。そこで、学習者が形に気をつけながら、楽しく練習を続けることができるように、と考へて作られたのが今回の2つのゲームです。付録の「動詞すごろく」などを使って、みなさんのクラスでも1度ためしてみてください。

このコーナーの担当：笠原ゆう子、木山登茂子（日本語国際センター日本語教育専門員）

方 法

●準備

クラスをグループに分け、それぞれのグループにすごろくシート1枚、さいころひとつを配ります。また、ひとりにひとつ、おはじきを配ります。

●教室で

- 1) じゃんけんをして、順番を決めます。
- 2) おはじきを「スタート」の位置に置きます。
- 3) 最初の人さいころをふり、でた目の数だけおはじきをすすめます。とまったところの動詞の「て形」を大きな声で言います。正しい形が言えなかったら、次に順番が来たとき、やすまなければなりません。
- 4) このようにして、最初に「ゴール」についてた人が勝ちです。

応 用

付録の「動詞すごろく」にはみなさんのクラスで、まだ勉強していない動詞もあるはず。その動詞を消して、他の既習の動詞に書き直してもいいでしょう。また、知らない動詞でも、その動詞の活用の種類を教えて、「て形」の作り方を練習させることもできます。